青年部協議会九州ブロック総会

新ブロック長に丸山氏

全国産業廃棄物連合会

丸山明紀新ブロック長

全国産業廃棄物連合会青年部協議会九州ブロック（篠原隆行ブロック長）は23日、鹿児島市のホテルレクストン鹿児島で第6回度通常総会を開き、会員相互の情報交換を積極的に推進することや循環型・情報化社会へ対応できる人材育成などを盛り込んだ新年度事業計画を決めた。また、任期満了に伴う役員改選では、新ブロック長に丸山明紀氏（㈲丸山喜之助商店、鹿児島）を選出した。

総会の冒頭、篠原ブロック長が「優良性評価制度、電子マニフェスト制度など青年部が中心となって普及促進に取り組んでいきたい。各種活動を通じて、さらなる資質向上に努めるとともに、業界発展に寄与していきたい」などと挨拶。また、三谷純夫県産業廃棄物協会長が「処理業界を取り巻く環境は時代とともに大きな変動と厳しさが増しているが、若い力を結集しさらなる業界発展、循環型社会の形成に向け協力をお願いしたい」と言葉を寄せた。

新役員の紹介も行われた総会
＝鹿児島市のホテルレクストン鹿児島で

引き続き、中ノ瀬浩己（中ノ瀬商店、長崎）を議長に選出し、18年度事業・収支決算報告、19年度事業計画・収支予算案などを審議した結果、原案通りすべて可決承認した。丸山新ブロック長は「協議会の発展のため1年間頑張っていきたい」と語った。

新年度事業計画は、①経営能力・技術の向上に関する研修会・講習会の開催②会報誌の発行③各種業界・団体に対する啓発交流活動④各県青年部の会員拡大・加入促進⑤業界関連組織交流・異業種交流の開催－などを掲げている。

また、総会終了後は、県環境技術協会の田中健次郎事業本部長を講師に招き、「廃棄物処理業と地域連携－循環型の地域づくりに向けて」と題した講演会も開かれた。

新役員は次の通り。

ブロック長＝丸山明紀▽副ブロック長＝河東光浩（太信鉄源㈱、宮崎）下地武（㈲大武産業、沖縄）▽総括幹事＝川畑一彦（㈱朝日産業、鹿児島）▽幹事＝酒田雅央（㈱クリーンセンター、福岡）酒見誠（酒見建設㈱、同）篠原隆行（㈱篠原建設、佐賀）橋本和幸（佐賀衛研㈱、同）中ノ瀬浩己（中ノ瀬商店、長崎）宮原公平（㈲環境サービス、同）山田浩之（㈱玉名リサイクルプラザ、熊本）星山一憲（㈱星山商店、同）江口午郎（栄大プラントサービス㈱、大分）宇留嶋靖彦（㈱宇留嶋建設工業、同）赤嶺大介（街クリーン㈱、沖縄）▽監事＝山下栄（㈲山下商事、宮崎）下田勝利（㈱勝利商會、鹿児島）

県鉄筋業組合総会

中山理事長再任　優れた技能目標に

県鉄筋業組合（中山勝美理事長）は23日、霧島市のホテル京セラで第37回通常総会を開き、「立派な仕事優れた技能」を19年度目標にした新年度事業計画案等を承認した。

総会後、写真に納まる会員
＝霧島市のホテル京セラで

ほか、役員改選では中山理事長の再任を決めた。

総会の冒頭、中山理事長は「厳しい社会情勢が続いておりますが、会員がそろいこのように総会を開催できうれしく思います。本日は多くのご意見をたまわり、互いに生き残りを図っていこう」と挨拶した後、栗脇幸夫氏（㈱栗脇工業）を議長に選出し、議事に入った。

議案審議では、18年度事業報告ならびに収支決算、19年度事業計画案ならびに収支予算案をすべて執行部原案通り可決したほか、浜田鉄筋工業（浜田一己社長、曽於市末吉町）の入会の紹介もあった。

19年度事業計画は、①組合員の相互扶助と組織の強化②組合加入の促進③安全衛生④受験人員の早期確保・準備講習会の実施－など。

新役員は次の通り。

理事長＝中山勝美（㈱薩摩鉄筋工業）▽副理事長＝内山三義（㈱佐々木工務店）▽理事＝大樂幸蔵（㈲大樂鉄筋）栗脇幸夫（㈱栗脇工業）永久宮博（㈱永久工業）徳永隆（㈱エス・キューシステム）南郷和美（㈲南郷鉄筋工業）小能政幸（㈲小能鉄筋工業）▽監事＝小原良弘（㈱小原鉄筋工業）川原清久（㈲大豊工業）▽相談役＝岩切正勝（㈲岩切鉄筋工業）川越時夫（㈲川越鉄筋工業）

県造園事業協組安全パト

歩こう会兼ねる　親睦深め合う

応急手当ての知識・処置法などを学ぶ参加者＝鹿児島市の谷山緑地で

県造園事業協同組合（丸山重之理事長）は23日、鹿児島市の谷山緑地で安全パトロールと森林浴を兼ねた「歩こう会」を実施した。当日は、地域住民や組合員ら約100人が参加し、和気あいあいとした雰囲気の中、互いの親睦を深め合った。

初めに主催者を代表して丸山理事長が「日ごろ、運動不足に陥りがちなことから、森林浴を兼ねた安全パトロールを計画しました。地域の方々も一緒に参加いただいていますので、この機会に住民との親睦を深めてほしい」と挨拶した。

引き続き、前田武信事業推進事業部長から注意事項などの説明を受けた後、参加者らは公園内の園路や植栽、休憩所などのチェックを行った。また、地域住民と公園の施設や利用方法について語り合いながら、森林浴も楽しんだ。

なお同日は、消防隊員による救急処置・消火器の使用に関する講習会も実施。人工呼吸や心臓マッサージなど人命救急に必要な応急手当ての知識・処置法などを学んだ。また、花苗の無料配布も行われた。

県建造物解体業連合会

石綿取扱い特別教育　有害性や特性学ぶ

県建造物解体業連合会（江藤正幸会長）は23日、鹿児島市のポリテクセンター鹿児島で「石綿取扱い作業従事者」特別教育を実施。当日は、会員20人が参加して、石綿等の有害性や特性、保護具の使用方法などについて学んだ。

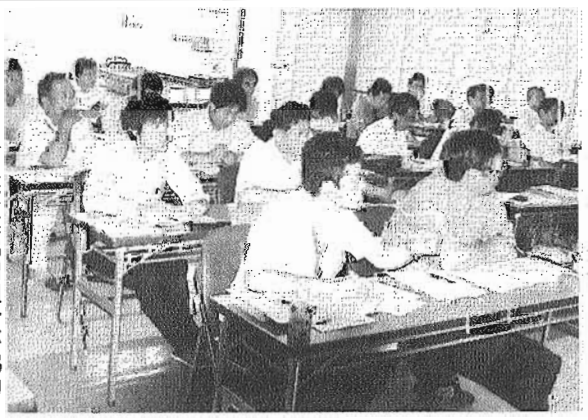
講習会では、石神民男同連合会事務局長が講習内容などを説明した後、豊倉厳副会長（㈱豊倉組）を講師に、①石綿等の有害性②使用状況③粉塵の発散を抑制するための措置④保護具の使用方法⑤ばく露防止－で、業務を行う際に必要とされる主な事項に基づき講習が行われた。

熱心に聴講する参加者＝鹿児島市のポリテクセンター鹿児島で

石綿の有害性・特性の説明で、豊倉副会長は「30～40年と長い時間をかけて体を痛めつけるものであることや、身近なものに多く使用されており、非常に危険であること」などを解説。受講者はメモを取るなど真剣な表情で聴講した。また、講習会の終わりにどれだけ理解できたか、自己診断も行った。

土改連が電子納品支援教育

県の電子納品に備え


CALS支援事業協同組合が協力した電子納品支援教育＝鹿児島市の県土地改良会館で

県土地改良事業団体連合会は25日、鹿児島市の県土地改良会館で電子納品支援教育を行い、職員28人が県等の電子納品について認識を深めた。

同教育は、近く差し迫った県の電子納品に備えようと、CALS支援事業協同組合に依頼して実施された。

冒頭、鹿児島リコー㈱の岩下格氏が県のガイドラインについて県独自の方式などを解説。次いで、㈲美光社の石室屋光昭氏と田代隆明氏が電子納品の流れ、留意事項等、フォルダ構成、データ形式などをプロジェクターを使いながら説明した。

このあと、福井コンピュータ㈱の石橋一樹氏が、電子納品支援ソフト、チェック、媒体作成、ウイルスチェックを詳説し、参加者は実際にソフトの体験も行った。

曳家（ひきや）工事・解体工事
土木一式工事・建築一式工事
株式会社 大城
県知事許可（特－17）第4087号
鹿児島市宇宿町1955-1　☎(099)275-3600(代)
FAX(099)275-3601番

お手軽で便利な
購読料のお支払いは
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ